

# 家の お手入れ



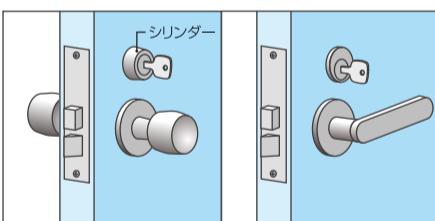
## 錠前の交換

難しそうな錠前ですが、ポイントさえ知っていれば、箱錠以外はサイズが合えば簡単に交換できます。またガタついてきたときも、分解方法が分かれば自分で直すこともできます。

### 種類を見分ける

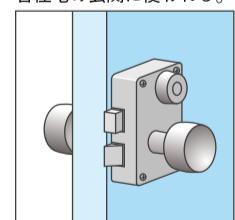
#### ●箱錠タイプ

カギ穴がノブの上についているタイプ。レバーハンドルもある。交換については難しいので、専門家に頼むほうが無難。



#### ●面付け箱錠タイプ

室内側のドア面にネジ止めするタイプの箱錠。集合住宅の玄関に使われる。

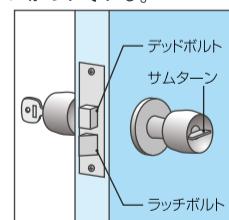


#### ●円筒錠タイプ

カギ穴がドアノブにあり、内側はプッシュボタン。フロントを見るとラッチボルトだけ。おもに室内用。最近は取替え錠のなかにレバーハンドルもある。

#### ●インテグラル錠タイプ

カギ穴がドアノブにあり、内側はサムターン。フロントを見るとラッチボルトとデッドボトルがついている。



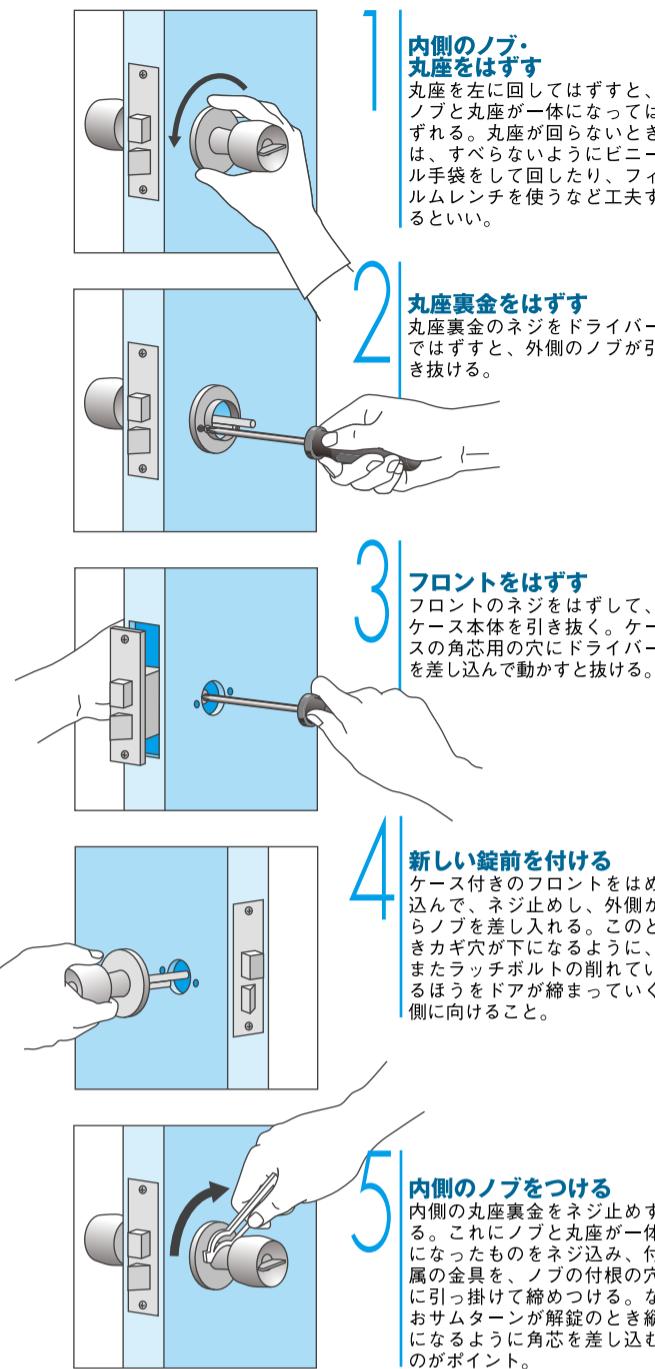
#### ●チューブラ錠タイプ

室内用で、カギ穴がドアノブにあり、内側はサムターン。フロントを見るとラッチボルトだけ。これの交換は、丸座にネジが見えているので、これをはずせば分解できる、交換も簡単にできる。レバーハンドルもある。



それぞれのタイプともに、カギのない空錠があります。またトイレや浴室のドアには、外からコインやピンで開けられる非常解錠装置つきの錠もあります。お年寄りや小さい子供のいる家庭では、これに交換しておくと安心です。

## インテグラル錠

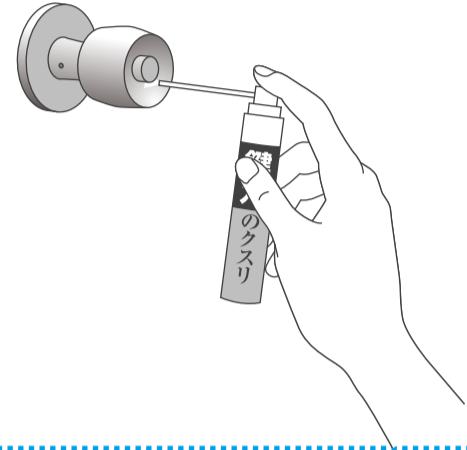


## 錠前の交換

### One Point Advice

#### カギの抜き差しが重くなったり

カギ穴にカギを差し込んだり、抜いたりが引っ掛かってスムーズにいかなくなることがあります。そんなとき、カギ穴にひと拭きすると、なめらかになります。これは車のカギ穴にも使え、ダイヤル錠も軽く動くようになります。なお油類を差すとホコリがついてもっと悪くなるので絶対に避けるようにしましょう。

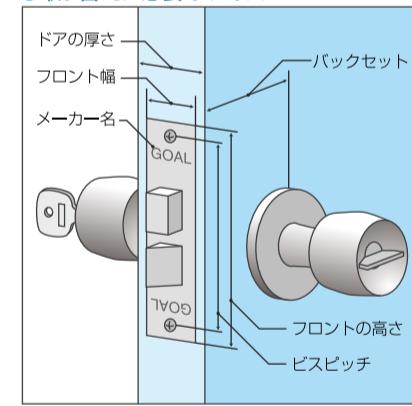


## 錠前交換に必要なサイズ

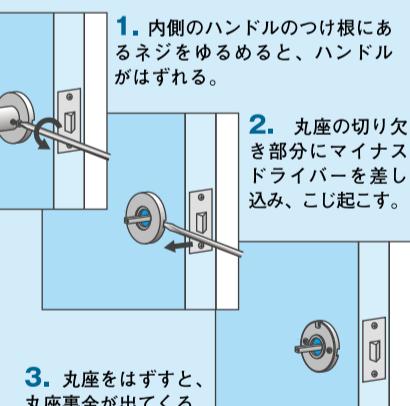
新しい錠前に交換するときは、パックセット、フロント寸法、ネジピッチ、メーカー名をチェックする。できればはずして持っていくといい。なおこれはインテグラル錠だが、円筒錠、チューブラ錠も全く同じ。

※ここでは円筒錠とインテグラル錠の交換について説明していますが、錠前の種類によっては、はずし方などが多少違うものもあります。基本的には、内側のノブから順にはずします。

#### ●取り替えるに必要なサイズ



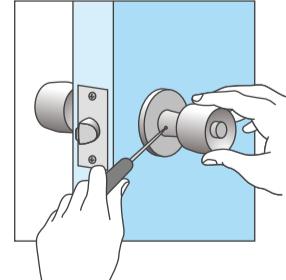
#### レバーハンドルのはずし方



## 円筒錠の交換

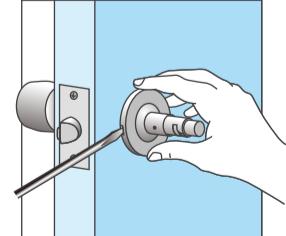
#### 1 内側のノブをはずす

ノブの付根に小さな穴がある。そこにキリや細いマイナスドライバーなどを差し込み、わずかにバネのような部分を押して、ノブを引き抜く。



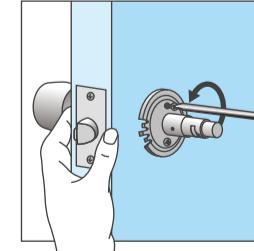
#### 2 丸座をはずす

丸座の周囲の切り欠き部分に、マイナスドライバーを差し込んで、こじ起こす。ただし錠前によって、多少違うものもある。



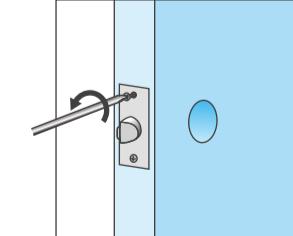
#### 3 丸座裏金をはずす

丸座を取ると丸座裏金があり、ネジをドライバーではすと、外側のノブが引き抜ける。



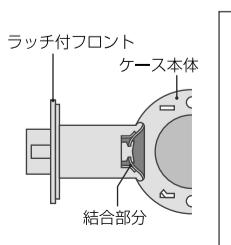
#### 4 フロントをはずす

フロントを止めているネジをはずすと、ラッチごとフロントが引き抜ける。



#### 5 新しい錠前を取り付ける

ラッチ付きフロントをネジ止めし、ケース付きノブを外側から差し込む。このとき、ケース本体とラッチが結合させるのがコツ。ノブを回してラッチがスムーズに動くかチェックをする。



#### 6 内側の丸座とノブを付ける

丸座は左右の引っ掛け部分を確認してバッチとはめ込む。ノブの内側の凸部分を軸の溝に合わせて差し込む。

